

ふさととくぢ

護岸工事の根固めブロックにお絵描きしました！ 中央小学校児童達がお絵描きしました！



目次

- 里山だより・徳地地域協育ネット通信…2P
- とくぢで輝く・じゃげな話…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・図書館だより…5P
- 総合支所情報局
- ふるさとへの軌跡・徳地のバス停探訪…6P



(2022年2月末現在)





表紙の写真から



重源の郷を脱出せよ！

杣入りの道を出発し一番奥のすべり台まで、約2時間のコースをポイントごとにスマホのラインに送られてくるクイズに答えながら、進んでいきます。クイズに正解しないと次が送られてこないのですが、難問に正解し、全員無事脱出成功です。

地域おこし協力隊、河上敦さんのモニター企画で、久しぶりの晴天のもと気持ちの良い汗をかきました。気がつけば、沢山歩いていたのですね。（取材：徳地づくり達人塾）



倒幕サバゲーム ～奇兵隊の徳地転陣を再現～



徳地に陣を張った奇兵隊。幕府軍の戦略を想定して実践訓練した新戦法、ミニエー銃を用いて行った史実をサバイバルゲームで再現しました。

昼食には、長州人も愛飲したと伝えられるカワラケ



ツメイ茶を練り込んだ蕎麦を瓦そばにアレンジした昼食に舌鼓。幕末にタイムスリップできたかなあ？どこか誇らしげに写るのは、気のせいでしょうか？

（取材：徳地づくり達人塾）



中央小学校の児童のみなさんが、堀の護岸補修工事で使われる根固めブロック 32 個へ、デザイン着色をしました。

6m×12m という大きなキャンバスに、アユやホタルが力強くも優雅に描かれたこの力作は、2月9日(水)に現地に設置されました。

（取材：徳地づくり達人塾）

（写真提供：(株)井原組）

「地域協育ネット」は、山口県が進めている「学校を核とした地域づくり」の仕組みです。わたしたちの徳地地域協育ネットも「笑顔あふれる徳地っ子」をテーマにかかげ、徳地中学校区をひとまとまりとし、地域で子どもたちを見守り、支援しています。

このたび、徳地地域協育ネットの事務局を担当している徳地中学校が、生徒からボランティア記者を募集し、生徒とともに活動内容や取組の様子を紹介していくこととなりました。今月から3月まで連載しますので、よろしくお願いします。今月は、徳地地域協育ネットの目標である、徳地地区全体で取り組みたい「めざす子ども像」と、徳地中学校ボランティア記者5名の紹介です。



徳地中ボランティア記者の生徒たち



徳地地域協育ネット通信

みんな大好き
ふるさとと徳地



とちぎで輝く

伝えたい! 誰もが誇りの
持つるまら徳地を

吉松 桂二さん (71)



■わたくし、生まれも 育ちも伊賀地です

今月は、4月号から1年間本誌ふるさととくぢ6ページ「ふるさとへの軌跡」の執筆を担当して下さる吉松桂二さんを紹介します。

吉松さんは、旧伊賀地小学校から旧堀中学校へ、そして旧佐波高校から広島大学へと進学されました。地理が得意だったそうですよ。大学卒業後高校教師への道に進み、部活動にも力を入れ、山口国体に向けて徳山高校で男子ソフトボール部を新設し、見事ベスト8に導くなどガッツ溢れる先生だったようです。

■第2の人生大活躍

教師の道を一直線に進み、部活動の指導をしていたこと

から62歳で定年退職を迎え「さあーて! のーんびり出来るかな?」ホットひと息ついたのである。とくぢ夏祭り花火大会の手伝いに始まり翌年には、実行委員長に就任。また、出雲地域づくり協議会会長にと次々に声がかかり、奮闘の日々の始まりです。

また、ご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが、山村開発センター大集会室入り口のロビーに立体的に作られた地形図が、展示してあります。これは吉松さんの作品で等高線をもとに、山の高さに合わせて1枚1枚裁断し積み重ねて作られています。各地域や重源上人の史跡などが緻密に作りこまれていきます。是非ご覧ください。クオリティーの高さにびっくりしますよ。



■掘り起こし、守り伝えて、まちづくり

現在毎月ボランティアアガイド養成講座が開かれており講師を務めておられます。取材に伺ったこの日は、三谷梶畑から佐波川まで材木を流した周辺の袈裟岩様や寿福院など史跡をモニターに映し詳しく説明されていました。吉松さんは、「なぜ重源上人が柚入りし用材を切り出すに至ったか? 単なる歴史の掘り起こしだけでなく徳地があったから歴史が動いたと考えるようになり、執筆を通して地域の方々から「誇り」を持ってもらいたい」と語ってくださいました。その先には、元氣な徳地が待っているに違いありませんね。

(取材: 徳地づくり達人塾)



徳地の祭り
～庄方の観音様～



◆2月18日は楽しみました。

小学生の頃はの。観音様の裏山(狗留孫山)に遠足での、1年生から6年生まで毎年、登りよったんぞ。6年生は奥の院(嶽の観音)の18丁(※約2キロ)までの。冬の終わり頃にある観音様は、よくけお店が出ちよつての。人も多かつたけの。徳地で一番の人出じやつたんぞ。

◆徳地の祭りって多かつたんだね。

平成6年3月発行の『徳地のまつり』(徳地町文化協会)には、神社仏閣などのお祭りが149もあったことが記されています。今は、いくつ残っているのか分かりませんが、今年の観音様は新型コロナの影響もあって、境内に1つ、山門前に1つのお店だけと本当に寂れていました。思わず和歌山から来られていたご住職に、来年は賑やかにしたいと話し込んでしまいました。



1990年の人出(出典: 徳地のまつり)

◆重源さんや奇兵隊も来た。

境内の近くにやあ。天井が落ちちよるけど重源さん由来の石風呂も残ちよるて。幕末にや、この高台から三田尻方面を見張ちよつた奇兵隊の第三銃隊が陣を張ちよつたんげな。ほんま、ええとこじやけ、もうちよたあ。お店も増えて、お参りする人が増えんにや、どねもならんのお。

(参照: 『徳地のまつり』(平成6年3月発行、徳地文化協会)(執筆: 池田特派員))

行政だより

感謝表彰を受けました

八坂地区むらづくり協議会では、サッカーなどのスポーツを通じた交流や連携などの活動を行っています。このたび日本サッカー協会（JFA）の100周年に伴い、地域でのサッカーの普及や発展に貢献に対しての表彰が行われ、やまぐちサッカー交流広場 八坂地区むらづくり協議会が感謝表彰を受けました。

（八坂地区むらづくり協議会）



佐波川水系水質検査を実施しました

佐波川の清流を保全し、後世に引き継ぐことを目的に制定された「佐波川清流保全条例」に基づき、令和3年11月15日に水質検査を実施しました。

今回の検査結果については、地域振興課で閲覧できます。

問合せ先 徳地総合支所 地域振興課 ☎52-1111

徳地生活バスのお知らせ

4月1日から防長交通が運行している生活バス（下記系統）につきましては、日曜日と祝日が運休となりますので、ご利用の際はご注意ください。

- ・堀～袖野活性化センター、堀～佐波川ダム
- ・堀～口ハス島地温泉

問合せ先 交通政策課 ☎083-934-2729

徳報!!

徳地中央サッカースポーツ少年団、新たなる旅立ち!



3月12日（土）やまぐちサッカー交流広場で、徳地中央サッカースポーツ少年団に在籍する最後の6年生4人の卒団式が開催されました。

ここ数年は、団員数の減少から、右田サッカースポ少の一員として試合に参加しており、この日行われた最後の試合、防府市少年サッカー選手権では、決勝戦に進出。レノファ山口U-12を相手に先制するも、逆転されるシーソーゲームの中、土壇場で同点に追いつく粘りを発揮、残念ながらPK戦の末敗れましたが、全力を尽くした準優勝に輝きました。

発足は1974年。50年近くの歴史の中で、多くの子どもたちが巣立っていきました。当初は先生を中心に、その後、志ある地域の方々により指導が受け継がれ、最後までチームを率いた河村幸二監督の指導歴は25年間にもなりました。

困難な時期もありました。市町村合併の直後、河村監督が

日々の練習に出ることが難しくなったとき、代役をかって出たのはサッカー経験のない松本和也コーチでした。また、OBである藤本淳コーチが、お兄ちゃんのように選手に接することで、中学や高校でサッカーを続ける選手も増え、石田皓大選手（元テゲバジャーロ宮崎）が徳地出身で初のJリーガーになるなど嬉しいニュースも生まれました。

卒団式の日、グラウンドには、社会人になったOBや、中高生、親御さんたちが集いました。かつての子どもたちはたくましい青年になりながらも、同窓会のような雰囲気「スポ少の頃は楽しかったね」と笑顔を見せ、ずっと一緒にいたかのようにサッカーを楽しみました。卒団式の最後には、ユニフォームに寄せ書きし、監督にプレゼントするサプライズも…。

この日を限りに、徳地中央サッカースポーツ少年団の活動はひと区切り、今後は、徳地でサッカーをしたい子どもたちの受け皿として、新たな活動の形を見つけたいと考えています。

卒団生には、高川学園で新主将を務める山本陽選手をはじめ、高校サッカーに挑む選手もいれば、新たな道を選んだ選手もいます。引き続き、徳地の子どもたちを応援いただくとともに、成長の喜びをわかちあっていただければと思います。

皆様、長きにわたり応援いただき、ありがとうございました!

（投稿：徳地中央サッカースポーツ少年団）

行事カレンダー

(4月15日～5月14日)

4月	20	認知症家族会 (やすらぎの会) (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	24	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング (問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
	29	第18回さわやかウォーキング in 串 (問) 徳地地域交流センター串分館 ☎54-0222
5月	10	憩いステーションとくち (徳地保健センター) (問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832
	11	育児相談 栄養相談、母乳相談併設 (徳地保健センター) (問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114
	12	健康相談 (徳地保健センター) (問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114

◆◆図書館だより◆◆ ☎52-0043

【新しく入った資料】

◎文学	高望の大刀/夜弦 雅也
◎一般書	にっぽんツバメ紀行/宮本 桂, ポンプラボ
◎実用書	45歳からの定番おしゃれレッスン/堀川 波
◎ティーンズ	「慰安婦」問題ってなんだろう?/梁 澄子
◎物語・児童書	イラストでわかる漢字使い分けじてん/卯月 啓子
◎絵本	ラーメンのおうさま/山本 祐司
◎CD	ぴあのおうた Beautiful Melodies
◎DVD	蜜蜂と遠雷

【企画展示】

◎今月のテーマ	家族のはなし
◎絵本	いろいろな植物
◎一般	日本歴史散歩 ～昭和編～
◎児童・ティーンズ	こんな学校通ってみたい?

【お知らせ】

4/30 (土) は、「こどもワイワイ図書館」の日です。
子ども向け DVD『ロイヤルコーギー レックスの大冒険』の上映会、お楽しみ絵本袋など、催し物を予定しています。

休 図書館 4月/18・25・28・29
休館日 5月/2・3・4・5・9

子育て支援センター
すくすくハウス予定 ☎52-0662

4月15日 (金) たんじょう会

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。
【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)
防府市休日診療所(鞆生町)☎0835-24-4172
【歯科】(受付 8:30～11:30)
防府市休日診療所(鞆生町)☎0835-24-4172
【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)

4月 17日 (日)	ながみつクリニック(中央町)	☎20-1230
24日 (日)	防府整形・リハビリクリニック(新田)	☎25-1060
29日 (金)	松本クリニック(国衛)	☎25-2522
5月 1日 (日)	緑町三祐病院(緑町)	☎22-3145
3日 (火)	松本外科病院(天神)	☎22-1409
4日 (水)	防府胃腸病院(駅南町)	☎22-3339
5日 (木)	桑陽病院(車塚町)	☎23-1781
8日 (日)	森下外科・整形外科医院(中西)	☎24-0500

【夜間救急病院】(平日、休日にかかわらず)

病 院 名 (場所)	電話番号	4月・5月の開設日					
桑 陽 病 院(車塚町) ☎ 23-1781		15	20	25	30	5	10
緑町三祐病院(緑町) ☎ 22-3145		16	21	26	1	6	11
三田尻病院(新田) ☎ 22-1110		17	22	27	2	7	12
松本外科病院(天神) ☎ 22-1409		18	23	28	3	8	13
防府胃腸病院(駅南町) ☎ 22-3339		19	24	29	4	9	14

行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、中止又は延期となる場合があります。詳しくは各行事の問合せ先にご確認ください。

総合支所情報局

2月20日(日) 山口市防災実働訓練が徳地地域で行われました。訓練は豪雨に伴う洪水、土砂災害による避難指示の発令を想定したもので、徳地総合支所では現地災害対策本部の開設・運営、防災行政無線や防災メール等を使用しての避難情報の伝達やドローンによる情報収集訓練、徳地体育館では避難所の開設・運営の訓練が行われましたので、その様子をお伝えします。

総合支所



現地災害対策本部 (避難情報の発令)



ドローンによる情報収集

徳地体育館



コロナ対策をした避難スペース



要配慮者専用スペース



段ボールを組み合わせたベッド

徳地のバス停探訪



岡の原（柚木）

徳地に住み始めて、一番多くシャッターを切ったのがバス停の前です。ゆったりとした時間と、どこか懐かしさを感じて思わず足を止めてしまいます。電車のない徳地では防長バスが唯一の公共交通機関です。バス停を見るとそこに住んでいる人たちの生活を垣間見ることができます。

いつも通り過ぎていた場所も空気、匂い、音を感じることで誰かの日常の一部だと体感できます。現在ではバスの本数も減り、生活の足を確保することが難しくなっていると聞きます。たまには足を止めてその土地の息づかいを体感してみるのも必要だと思いました。（河上特派員）

写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくぢ」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取り、アドレス入力なしでメールできます

ふるさとへの軌跡

徳地と東大寺再建

～徳地から始まる「材木の道」～

(1) はじめに

東大寺の再建については、「重源が東大寺を再建した」とか「重源が徳地の材木を使って東大寺を再建した」というように、とかく重源を“主語、にして語られます。私自身、これでは地域の誇りある歴史としての自覚、あるいは後世に語り継ぐ意欲というものが湧いてこないような気がしています。

そこでこの歴史を、地域からとらえ直しをしてみたらどうだろうか、徳地が“主語、になるような描き直しをしてみたらどうだろうか、と考えるようになりました。そんなことを考えていたら、大変参考になる文章に巡り合うことが出来たので紹介します。



材木の道はここからはじまる

『徳地では重源が徳地産の材木を使って東大寺を再建したという結果が注目される反面、その背後に広がるより豊かでダイナミックな歴史的背景についてはあまり知られていない。そもそも、なぜ東大寺再建に当たって重源は徳地の材木を使用したのであろうか』（徳地からひろがる「材木の道」：伊藤幸司著）

つまり『なぜ東大寺再建に当たって、重源は徳地の材木を使用したのであろうか。その背後に広がるダイナミックな“歴史的背景、をあまり知らない』というのです。“結果、だけが語られて、“歴史的背景、があまり語られてこなかったから、地域の誇りある歴史としての自覚も、後世に語り継ぐ意欲もあまり生まれてこなかったのではないかと思うのです。

『東大寺再建に当たり、なぜ重源は徳地の材木を使ったのでしょうか。これからその歴史的背景を明らかにしたいと思います。そうすれば、この課題も解決できるような気がしています。

（執筆：吉松 桂二）